



碧南ロータリークラブ週報

第2828回例会 平成29年6月14日(水)

- 会長 榑原 健
- 幹事 新美 惣英
- 会場監督(SAA) 黒田 泰弘

2016-2017 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 杉浦秀延・貝田隆彦・梶川光宏

●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

愛知県碧南警察署 署長 福留健夫様
 2017-2018 年度地区大会実行委員長 尾上 昇様 (名古屋大須RC)
 2017-2018 年度地区大会実行委員会 横井 衛様 (名古屋大須RC)

●本日の卓上花

スプレーバラ

会 長 挨拶

失礼致します。本日は会長がお休みということで、代わってご挨拶させていただきます。

榑原年度も本日の例会と次週の例会の2回となりました。この1年間会員の皆様には大変ご支援ご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。本日は会長が挨拶をする予定だったの



岡本明弘副会長

ですけれども、急に所要ができて、私が喋ることになりました。副会長という立場としまして、会長をフォローするというので、点鐘の話をさせていただきます。

榑原会長の場合は、親睦と職業奉仕という形でございます。例会の閉会の時の点鐘は、閉会ということで1回、そして今週も職業奉仕を頑張ってくださいよということで、もう1回やられております。これは新入会員の方ですと、これが普通なのかなと思われそうですが、ロータリー歴が長い方は非常に特徴的なことだなと感じて見えると思います。元々点鐘は口

ータリーが始まりますよ、終わりますよという形で、会長が鐘を鳴らすという儀式でありますけども、これは例会以外に地区協議会、地区大会、IMでも同じように開会と閉会に1回ずつ行われております。これは1920年頃に東京クラブが最初にやってから右に倣えということでこのようになったのだそうです。外国ではどうかといいますと、点鐘の代わりに“Call to Order”つまり“皆さんお静まりください”というアナウンスが流れて例会が始まるそうです。鐘を鳴らすということは、日本人の独特なけじめを付ける意味では合っているかなというふうに思います。

本日は2828回の例会ですから、単純に計算しますと5656回点鐘をしてきたこととなります。今年の榊原会長は閉会の時にもう1回鳴らしますので、今日まででプラス45回になります。合計すると5701回になります。これは今年度榊原会長が「奉仕の心を持ってあなたの職業を営んでくださいよ」という強い想いを込めて鳴らされていると私は思っております。私も閉会の時に2回打たせて頂きますけども、そのような想いを込めまして点鐘したいと思っております。

本日の例会が今年度最後の卓話になりますので、よろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 第12回理事会で協議事項の第20回元気ッス！へきなんの協賛を3万円拠出するという事で承認されましたので、よろしくお願い致します。
- ・ 2018年RI国際大会（トロント）登録の特別割引についてのお知らせが届いております。来年の国際大会に行かれるご意思のある方は、本日の14日までにご登録頂くと295ドルの割引がされるということでございますので、よろしくお願い致します。
- ・ 毎年恒例でございますが、名古屋北RCの浦野様よりロータリーカレンダーのハガキが届いております。浦野様個人で作られたものですので、よろしくお願い致します。
- ・ 前回、碧南市のチャレンジデー実行委員会よりチャレンジデーへの参加のご依頼がございましたけども、そのお礼と結果が届いております。



新美惣英幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 70 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 11 名)出席者 57 名	
出席対象者 57/64 名	出席率 89.06%
欠席者 13 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

地区大会実行委員会様 今年度地区大会へのご参加、ご登録宜しくお願ひ致します。

- 角谷 信二君 6月11日(日) 県立碧南高校同窓会総会が無事終わりました。
- 竹中 誠君 第65回碧高同窓会総会にて顕彰者表彰を頂きました。
- 平松 太君 碧南市鉄工会60周年の記念で表彰されました。50年間鉄工所をやって来て良かったと思ひました。
- 山中 寛紀君 昨夜何とか無事、アトランタから帰国できました。今年のガバナーナイトは昨年と違い約185名の席で少々淋しかったです、それなりの盛り上がりでした。岡島さんには同席して頂き、助かりました。有難うございました。
- 長田 和徳君 昨日、浜岡原発へ訪問してきました。安井さんにはお世話になりました。
- 服部 弘史君 本日の講師、碧南警察署 署長 福留健夫様をご紹介致します。福留様よろしくお願ひ致します。
- 昨日、父の十三回忌法要をつとめることができました。ロータリークラブ在籍時には皆様にお世話になりました。
- 鈴木 泰博君 お誕生日のお祝ひありがとうございました。50代最後です。有意義な一年にしたいと思ひています。
- 杉浦 秀延君 愛知県立碧南工業高等学校バレーボール部、チーム：碧工マリネズ (Team Hekiko Marines) が6月10日(土)開催、第16回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会愛知県予選会に出場。見事優勝。8月4日(金)全国大会出場権を獲得しました。皆さん応援よろしくお願ひします。

卓 話

「廃棄食品の横流しに係る食品衛生法違反等事件」

愛知県碧南警察署 署長 福留健夫様



福留健夫様

ご紹介頂きました碧南警察署長の福留です。皆様には、日頃から警察に幅広くご協力頂き、また、本日このような素晴らしい席にお招き頂いて、恐縮しております。大した話はできませんけれども、過去の経験から少しお話させて頂きます。

先程ご紹介頂きましたが、私は35年間の警察生活のうち、27~28年は生活安全部門に在籍しました。生活安全部では、少年事件や薬物捜査、訪問販売、闇金融、投資詐欺などの事件を主に扱っておりました。今日は、その中で直近で関わりを持つことができた事件をご紹介させていただきます。

「廃棄食品の横流しに係る食品衛生法違反等事件」です。この事件は、愛知県警が岐阜県警と合同捜査を行ったもので、産業廃棄物処理業者が、処分委託を受けたビーフカツなどを適正に処分することなく横流しを行い、仲介業者を経て、消費者に食品として販売されてい

た事件です。昨年 1 月頃の事件で、ご存じの方もいらっしゃると思います。問題となった産業廃棄処分というのは、CoCo 壺番屋から流されたビーフカツです。事件が発覚したのは、昨年の 1 月 12 日で、カレーハウス(株)壺番屋から警察に、「廃棄処分したはずの当社製ビーフカツが食品スーパーの店頭で売られている。当社製カツ類は、一般には流通していない」という相談を受け、食の安全を脅かす恐れのあるものという判断をしました。

廃棄カツの流通経路は、産業廃棄物処理業者である(株)ダイコーがカレーハウス(株)壺番屋から製造工程で異物が混入した疑いのあるビーフカツ約 5 万枚の処分を受けました。これを岐阜県羽島市にある、めん類製造業者のみのりフーズが購入し、いきさつを知っている食品卸売業者ジャパン総研(株)が販売するとともに、いきさつを知らない複数の食品小売業者に販売をしていたというものです。

警察では、早期に事件着手する必要があると判断し、認知から 2 日後の平成 28 年 1 月 14 日～16 日までの間、廃棄物処理業者 (株)ダイコー)、めん類製造業者 (みのりフーズ)、食品卸売業者 (ジャパン総研(株)) など、関係場所 15 箇所を捜索しました。最終的には、廃棄カツを始め、証拠品約 800 品目、約 1 万 1000 点を押収しました。この捜査では、1 月 12 日に相談が寄せられ、以降、14 日～16 日に関係場所に対する捜索や検証等を行い、7 月 12 日に被疑者 3 人を詐欺罪、食品衛生法違反で逮捕するまで、約半年という時間を費やしました。また 8 月 1 日には、被疑者 3 人を詐欺罪、*廃掃法違反で再逮捕し、更に 8 月 19 日には、被疑者 3 人及び 1 法人が詐欺罪、食品衛生法違反、*廃掃法違反で起訴されるという結果に持ち込むことができました。(*廃掃法…廃棄物の処理及び清掃に関する法律)

約半年かかって逮捕にこぎつけた事件では、様々な困難がありました。

普通、事件捜査では、警察が逮捕したりした後に報道が行われますが、この事件では、マスコミの取材や報道、あるいは行政の先行により、情報が氾濫、拡散しました。食の安全が脅かされる事件のため、やむを得ないことですが、行政の発表やマスコミの取材で、世間の耳目が集まる中での捜査、また前例のない事犯に対する適用法令の検討、大量の証拠品から流通経路の分析など、極めて困難なものでした。特に、立件に必要なとは言え、100 店舗以上にのぼるビーフカツの流通先の全てから事情を聴くことは、本当に大変な作業となりました。

しかし、この事件では様々な効果や影響が認められました。社会的反響の大きい事件に対し、素早い立ち上がりで捜査体制を確保し、早期の段階で捜査を行ったことで、異物が混入したビーフカツの流通を阻止したこと。また、様々な法令を多角的に適用し、詐欺罪のほか、とりわけ産業廃棄物処理業者に食品衛生法違反を適用したことなどは画期的だったと自負もしております。さらには、関係業界への警鐘を与えると同時に、関係省庁会議への警察庁の参加が求められるようになったことも大きな成果となりました。毎日、スーパーやコンビニ等、食品販売業者等から大量に廃棄される食品について問題提起され、食品業界の 3 分の 1 ルールについても、より良い商慣習に改善されるきっかけになったのではないかと感じています。

大変苦しい捜査ではありましたが、最終的には、警察庁長官賞という最高の賞をいただくことができました。しかし、私は、「表彰を狙った捜査はすべきではない。只々、被害者のことだけを考えて捜査を進めれば、後で賞はついてくるもの」という考えのもと、碧南警察署

では、毎日口を酸っぱくして、「悪い奴をやっつけろ」と自分自身が理解できる言葉を言い続けています。

拙い話で申し訳ありませんでしたがどうか、どうか引き続き碧南警察署にこれまで以上のご協力をお願い致します。ありがとうございました。

次回例会案内

平成29年7月5日（水）

クラブフォーラム「役員挨拶」